

豊明市事務事業評価票（１７年度事業） ソフト事業及びハード事業用						
事業名		有機資源循環事業				
総合計画上の事業名		リサイクル	担当課 環境課			
予算事業名		塵芥処理事業	担当係 有機循環推進係			
事業の内容		現在２次堆肥施設が野積みの状況であり環境への影響も大変大きいため、堆肥センターが完成までの間は地区拡大等を行うことは難しいものと考え、完成後においては、随時地区拡大を図る。				
事業の目的		分別回収された生ごみから堆肥をつくり、その堆肥を土壌へと戻し農産物を生産し、消費する。残采はまた生ごみとして回収されて堆肥となる有機循環を目指す。				
指標		生ごみ回収量（分別回収推進地区の協力により生ごみを回収し、より良い堆肥を生産し、推進地区及び市民に還元する。）				
事業実績及び目標		【実績値及び目標値】 （事業費：収集運搬委託、堆肥化委託、袋詰委託、肥料分析、生ごみ専用袋、有機循環推進委託）				
			実績（ｔ）	目標（ｔ）	職員数	事業費（決算見込額）千円
		平成１４年度	回収 108.6		0.3	11,079
		平成１５年度	回収 111.5		0.3	12,199
		平成１６年度	回収 96.1	回収 115	0.6	13,416
		平成１７年度	回収 94.1	回収 120	0.7	11,173
		平成１８年度		回収 208	0.7	35,000
		平成１９年度		回収 429	0.7	35,000
		平成２０年度		回収 429	0.7	35,000
総合評価及び今後の対応		【達成率】 78.42%		成果指標の当該年度目標に対する達成度		
		【必要性】 A	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択			
		【有効性】 A				
		【効率性】 B				
		【市民満足度】 A				
		【総合評価（担当課）】 A		総合評価については、		
		17年度末には堆肥センターも完成し、有機循環を推進する環境が整った。今後は地区の拡大を随時進める。		A 予定どおり進める B 見直しが必要(手法等)		
		【総合評価（審査会）】 B		C 見直しが必要(縮小)		
		協力率の向上と回収方法について検討すること。		D 廃止が相当 から選択 評価理由についても		
		【総合評価（最終評価）】 B		記載してください		
【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入						
推進地区における協力率が低迷しているため、地区内で有機循環シンポジウムや説明会、沓掛堆肥センターの見学会などを行い有機循環の意義を啓発し協力率のアップを図っていきたい。						
【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）						
生ごみ専用袋は高価であるため、町内会組織を通じて生ごみ専用袋の希望者を把握して配布することとした。また価格の低い製品を探して試験購入、18年3月に地区を決めて配布し使用実証を行うこととした。						